



イマジン
ロータリー

国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 なんと



NO. 2575

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影

写真同好会

山田清志会員



「山の恵み」

第2636回例会 令和4年11月8日(火)曇り13℃

◆点 鐘 12:30 古瀬喜八郎会長

◆司 会 谷村修基SAA

◆ソング 「奉仕の理想」

◆ゲスト地区ロータリー財団委員長 青山和也様
(富山みらいRC)

◆会長の時間 古瀬喜八郎会長

今日はロータリー財団月間で、本日は地区ロータリー財団委員長青山和也様に来て頂いております。後ほど卓話を賜ります。昨日は立冬で、本格的な冬になるのかな。今日は皆既月食×天王星食(写真)で、月食×惑星食は442年ぶり。19時20分頃からです。

●失敗から学ぶ

プロ野球界で名将として名を馳せた野村克也氏は、「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし」と述べました。

この言葉は、江戸時代中期の剣豪であり、かつて現在の長崎県にあった肥前国・平戸藩の藩主である松浦静山の剣術書『常静子剣談』の中に書かれた言葉を引用したものです。

失敗したら必ずその失敗につながる行動があったと捉え、原因を探るべきでしょう。野村氏は、負けた時に、「敗因はどこにあったのか」「どうすればそのミスをなくすことができたのか」とチームで考える時間を設けました。

こうした時間が、選手たちの失敗について考える力を促し、強豪チームを作り上げる一助となりました。

ビジネスの世界においても、同様のことが当てはまるのではないでしょうか。失敗をして、苦境に陥った時こそ、その原因をしっかり追究し、成功の糧としたいものです。

今日の心がけ ◆失敗を成功の糧にしましょう

◆幹事報告 石崎和三幹事

①米山奨学金特別寄付の依頼。10,000円を11/18(金)口座振替。寄付額の変更、お問い合わせは11/11(金)までに事務局へ。

②各クラブより案内。

○砺波RC…・11/21職場訪問。・12/19年忘れ家族会。

・12/26、1/2例会取消。1/9→1/10(火)に変更。

・11月よりメーカーキャップを開始。

○高岡RC…

・11/3取消。・11/10夜間例会(受付あり)。・12/8場所変更(受付あり)。・12/15夜間例会(受付あり)。・12/22簡易例会(受付あり)。

・12/29取消。・1/5新年夜間例会。



③RI日本事務局→G事務所よりロータリー財団月間/リソース=資産。資源活用資料等=案内。

◆委員会報告

○次々年度会長指名委員会 岩木貴之委員長

10月の第2例会で会長指名委員に専任されました6名で即日、会合を持ち委員会を開きました。6名の委員は、検討の結果、挙げられた会員のお名前を満場一致で同意しました、ただちに、ご本人に連絡を取り、承諾を得ましたので御通知をいたします。

次々年度会長に久恵龍三君を推挙いたします。

この後の流れといたしましては12月の第2例会、12/13の年次総会の席上、会員皆様のご承認を戴きまして、正式に次々年度会長予定者となります。以上ご報告をして責務を終えたいと思います。

★ニコニコボックス 11/8 谷村賢治委員長

地区ロータリー財団委員長 青山和也様より
日頃は、地区ロータリー財団委員会にご理解とご協力を戴きまして有難うございます。よろしくお願い致します。

古瀬君 青山財団委員長ようこそ。後ほど宜しくお願いします。

石崎和君 米寿のお祝いコンペ、東町の片山浩さん(片山先生)、88才(かぞえ)でお元気で。皆様、お元気で過ごしましょう。ちなみにタバコもお酒もたのしまれます。

谷口君 青山財団委員長、お忙しい中ありがとうございます。卓話宜しくお願い致します。

荒井君 ロータリー財団委員長、青山和也様、本日はようこそいらっしゃいました。歓迎申し上げます。

松本君 財団委員長青山さんをお迎えして!

久恵君 青山財団委員長、ようこそ。

川合君 ちょうどマスクのヒモが切れてしまいました。ニコニコBOXマスクを買いました。

木村君 特記する事はないですが、私の様な季節労働者は日々の仕事に追われています。先月下旬に胃カメラ、健康診断、コロナワクチン接種を続けて受けました。

尾山君 地区ロータリー財団委員長、青山和也様、卓話宜しくお願い致します。

牧君 青山地区R財団委員長、ようこそ。

柳君 暦のうえでは、冬。寒くなりました。ロータリー財団委員長青山様、ようこそ。

山田清君 R財団青山委員長ようこそ。よろしくお願い致します。

谷村賢君 4日間病院に監禁されました。(コロナではありませんが)まだ本調子ではありません。よろしくお願い致します。

木勢君 早退します。

本日のプログラム 11月15日(火) 第2637回例会

卓 話

担 当 水口秀治会員

◆出席報告 木村伊徳副委員長

会員数	11月8日出席率	10月25日(修正)
45 (免32)	76.74% (出33)	74.42% (出32 内メーク2)

メーカーキャップ: 北島芳信君、安居利浩君

次回の予定 11月22日(火) 第2638回例会

卓 話

担 当 川合声一会員

■ロータリー財団当クラブ委員長 谷口和尋君

ロータリー財団は100年以上前に創立されており、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトで、総額40億ドル以上の資金を提供しています。R財団の使命は、ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無くすことを通じて世界理解・親善・平和を構築できるよう支援することです。皆さんには財団への寄付をお願いします。

ゲスト卓話



青山和也地区ロータリー財団委員長

今年度から地区委員長を務めています。2013年入会の10年目となります。

・ロータリー財団とは？

創設者のアーチ・克蘭フは貧しい家庭で育ち、1911年にクリーブランドRC入会、1916年には第6代RI会長を務めた際に、**世界で良いことをしよう**と基金を立ち上げたのが、現在のR財団の基になっています。当初はなかなか寄付金が集まらなかったが、1947年ポールハリスの死去をきっかけに130万ドルの寄付が寄せられた。

・ポリオプラスについて

R財団の最優先事項がポリオ撲滅。1985年ポリオプラスプログラムが創設され、1988年には国際ロータリーとWHOが「世界ポリオ撲滅推進活動」を立ち上げた。その結果、100年以上前は世界で大流行したが、現在の常在国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国だけになった。2022-2026新しいポリオ根絶戦略での終息を目指している。

・災害救援補助金について

2019年に立ち上がった財団のプログラムで、寄付により基金をつくり補助金を出すしくみ。ウクライナ支援は特例として2610地区でも共同して申請しており、壊滅した街に仮設住宅を設置するプロジェクトです。この補助金は豪雨、豪雪、地震、台風などの災害にも活用でき、8月の小松での水害の復旧プロジェクトに申請を考えている。

・ロータリーカードについて

個人、企業、クラブで使えるカードがある。人頭分担金やR財団の寄付もカードで支払いでき、0.3%がポリオプラスに寄付される。

最後に、ロータリー財団への積極的な寄付と、持続可能な事業を立ち上げていただくことを強くお願いします



ポリオ（急性灰白髄炎）は、ウイルス感染によって発症する病気です。ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「**小児まひ**」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。



アーチ・克蘭フ

第6代RI会長 (1916-17年)
1869年6月6日生まれ
クリーブランドRC所属 (1911年入会)
職業分類は『木材卸売ならびに小売』
優れたフルート奏者、スポーツでも活躍
家庭は貧しく、12歳で学校を退学
18歳で製材所の雑用係として就職
最終的には、会社の会長、総支配人、経営者



1917年アトランタ国際大会にて

第6代RI会長 アーチ・克蘭フは

ロータリーが基金をつくり、**世界的な規模で** 慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、**何かよいことをしようではないか**と呼びかけた。

提唱から数ヶ月後

ミズーリ州カンザス・シティーRCより
26ドル50セント

世界恐慌、第二次世界大戦という不安定な情勢の中思うように寄付が集まらない



1947年1月27日

ポール・ハリス永眠

『献花の代わりに、財団への寄付を』

18ヶ月間にロータリー財団に
130万ドルの寄付が寄せられた



ポール・ハリスの没後、財団は発展
1978年 「保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクトの第一号として、フィリピンの600万人の子供達にポリオの予防接種を実施。

Health, Hunger, and Humanity Grants
1985年 全世界でポリオの撲滅を目指す「**ポリオプラス・プログラム**」を設置。



Rotary Foundation ロータリー財団について

	国際ロータリー (RI)	ロータリー財団 (TRF)
使命	職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を 推進 すること	ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を 構築 できるように 支援 すること
標語	・超我の奉仕	世界でよいことをしよう
キーワード	・最もよく奉仕する者最も多く報われる	Doing good in the world
会員	ロータリークラブ ローターアクトクラブ	国際ロータリー
収入規模	1億568万ドル (20-21年度)	3億5,475万ドル (20-21年度)
資金の用途	国際ロータリーの運営	プログラム補助金と運営費
プログラム	青少年交換、インターアクトなど	補助金プログラム (地区補助金、グローバル補助金) ポリオプラス、ロータリー平和センター
資金の源泉	人頭分担金 Per capita dues	寄付 Gift

ロータリー財団の正式名称: The Rotary Foundation of Rotary International

Rotary Foundation ポリオ・プラスについて

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: GPEI ウェブサイト(英語)

		2022年 1月1日～ 10月25日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	20	1	84	147
	アフガニスタン	2	4	56	29
非常国	モザンビーク	7	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		29	6	140	176

(今回の会報担当: 森 雄一)